

# 第25回 全日本バトン選手権大会ルール一覧

種目	タイム	演技内容	審査注目内容
①ベイシックストラット ●小学生のみ ●低学年・高学年	予選はストラットの審査、決勝は下記通り バトンを回さず左周りに4角に8個間ずつ歩く ●アテンションで始まりアテンションで終了		歩き方、腕の振り方 スイッチを90度 視線、姿勢、元の位置に戻る。
②規定演技グレード1～6 ●グレードごとの審査	文部省選定ビデオ規定演技 初級 DVD に掲載 グレード1、2、3、4、5、6の規定演技 ●アテンションで始まりアテンションで終了		正確なバトン操作と姿勢や体の動き、カウント。
③ソロバトン ☆東京都より受賞 ●グレードごとの審査 ●小学生・一般各最高得点者に東京都オリンピック・パラリンピック準備局長賞	●グレード1から4までの出場者は1分迄 ●グレード5以上の出場者は1分15秒迄	演技は次の順番で行うのが望ましい ①コンタクトフリップ ②縦フィンガーワーク ③ロール ④フラット、フラットフィンガーワーク含む ⑤縦エアリアル	左記の5項目にはそれぞれ技術の難度があり。 ●サリュートから始まりサリュートで終了
④ソロツーバトン ⑤デュエットバトン ●小学生の部・一般の部で審査	小学生の部は1分 一般の部は1分15秒まで 参加人数により、小学生低高で分けて審査もある		
⑥チームポンポン ☆毎日新聞社より受賞	●小学生1分45秒まで ●一般2分20秒まで	自由曲 (各チームCDを用意)	演技中でスタンプ(ピラミット)禁止
⑦チームバトン ●小学生の部、一般の部、学校バトン部で審査	●小学生2分10秒迄 ●一般2分45秒迄	参加団体数、人数により、小編成・大編成で審査する場合あり	

\*①から⑥は 協会マーチエンドレス CD 使用/⑥⑦はチーム持参の自由曲 CD 対応

\*③のソロバトンはグレードごとに審査。グレード認定なしの方、協会会員以外の方はグレード5で出場